

⑤ 黒沢永紀 著

『軍艦島入門』

(実業之日本社)

長崎県沖に浮かぶ周囲1.2キロほどの小さな島、軍艦島(端島-はしま-)。かつてここには日本有数の炭鉱があり、5千人以上もの人々が暮らしていた島でした。閉山後廃墟の島として長い眠りについていましたが、数十年を経た現在観光上陸が始まり、また世界遺産の暫定リストに登録がなされたことから注目を集めています。

本書では軍艦島を10年以上取材し続けている著者が島の歴史や現在の様子、残存している各建物の解説など事細かに記しています。炭鉱採業当時の貴重な写真と現在の写真を随所にちりばめ、その魅力を伝えています。観光ガイドも充実しており関心のある方には必読の書です。(H.M.)

219.3 ||Kur

⑦ 田中實 著

『シェイクスピアに魅せられて
= Enchanted with Shakespeare』

(朝日出版社)

本書は、シェイクスピアが残した37作の戯曲の中から歴史劇、問題劇、ロマンス劇と呼ばれる内の10作を、著者の独自の観点から分析し、劇中の台詞を引用しながら紹介しています。本書にある「ヘンリー6世」は、当時大変好評な作品でした。シェイクスピアのデビュー作といわれ、歴史好きだった彼は独自の歴史劇だけで10作残しています。

本書の前作『シェイクスピアの宇宙』では、喜劇、悲劇と呼ばれる作品が取り上げられているので、興味のある方は併せてご覧ください。(N.N.)

932 ||Tan



⑥ 早野龍五、糸井重里 著

『知ろうとすること。』

(新潮社)

3年前の福島第一原発の事故後、著者の1人は様々な情報や憶測が飛び交うなか、物理学者として放射線に関する情報を分析し、事実をツイッターで世界に発信し続けました。

本書では事故後の原発のこと、人や食べ物への放射線の影響、福島での放射線測定の結果判ったこと、未来につなげる今後の活動について書かれています。

放射線という難解な内容を想像するかもしれませんが、著者2人による対談形式でわかりやすく語られており手軽に読める本です。(M. S.)

543.5 ||Hay

⑧ 平野純 著

『はじまりのブッダ: 初期仏教入門』

(河出書房新社)

私たちの生活や価値観に大きな影響を与えている仏教。しかし仏教がどのような考え方、教えを持ちどのように成立してきたかを正しく理解している人は多くないのではないのでしょうか。

本書では仏教の初期経典が伝えるブッダの姿を通して、ブッダの真の教えから仏教の誕生、発展を分かりやすく親しみやすい文章で解説しています。

なんとなく分かっているつもりでいた仏教の本質を知り、理解を深めれば留学生からの「仏教って?」にも自信を持って答えられるようになるはずです。(S.K.)

182.8 ||Hir